



の が き 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2023年9月27日 No.164 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

第3回定例会 補正予算

給食費無償化、自転車ヘルメット助成費用など計上

補正予算(第4号)の概要

- 学校給食費の無償化 9億4,449万円
 - ・区立小・中・特別支援学校64校が対象
29,500人
- 保育施設に通う第二子保育料 3,200万7千円
 - ・これまで2分の1を軽減。さらなる負担軽減のために令和5年10月から無償化する。2,253人が対象。
- 自転車ヘルメット助成 2,192万6千円
 - ・ヘルメット着用促進講習会受講者
最大5千円 250名
 - ・上記以外 最大3千円 6,750名
- 高齢者補聴器購入費助成 462万9千円
 - ・実績を踏まえ、120人分を追加
- 光熱費等の支援 2億3,012万円
 - ・公衆浴場、介護事業者、保育所等に対する光熱費等の支援。下半期分の追加経費。
- 気候変動対策の推進 4,726万8千円
 - ・再生可能エネルギー等の導入助成、断熱改修等エネルギー対策助成などの追加経費
 - ・(仮称)気候区民会議の開催
- 対話によるまちづくりの推進 342万円
 - ・「(仮称)阿佐谷まちづくりセッション」の開催
 - ・都市計画道路133号線に係る対話集会の開催



9月11日から、杉並区議会第3回定例会が始まっています。岸本区長は今定例会に補正予算(第4号)を提案しました。

物価高騰から区民生活を守るため 補正予算を計上

今回の補正予算には、岸本区長が公約に掲げ、党区議団も長年にわたり繰り返し求めてきた学校給食費の無償化の費用が計上されました。実施時期は10月から来年3月まで。来年度については、「国の動向を踏まえ、実施の是非を検討する」と述べました。

今年6月から始まった高齢者の補聴器購入費助成は、多くの申し込みがあったため当初予算と同額の費用を計上しています。また、長期化する物価高騰の影響をふまえ、事業者に対する光熱費等の追加経費も盛り込みました。(※10月から申請が始まる中小企業光熱費高騰緊急対

策助成金とは別のものです。)この他にも、補正予算には、党区議団が求めてきたことが多数反映されました。区民のくらしをまもり、区民参加の区政を前身させるために頑張ります。

各種助成金を利用した、必要な人に紹介したなど、みなさんのご意見もお寄せください。

生活保護のハードル上げる無理な「扶養照会」やめさせよう！

扶養照会実施率(2021年度)

東京新聞の調査報道より

杉並区	80.3%
渋谷区	60.2%
港区	60.0%
墨田区	55.2%
府中市	51.4%
北区	43.7%
江戸川区	43.0%
豊島区	42.3%
文京区	42.1%
練馬区	41.8%
葛飾区	40.1%
品川区	39.8%
八王子市	34.3%
目黒区	33.2%
江東区	29.8%
千代田区	22.1%
足立区	10.0%
中野区	9.6%
新宿区	7.1%

未集計と回答
台東区
町田市
西東京市

人数のみ回答
中央区
大田区
世田谷区
荒川区
板橋区
調布市

杉並区の3福祉事務所扶養照会件数

年度	新規保護開始世帯	扶養照会件数	実施率
2020	659	624	94.7%
2021	679	545	80.3%
2023	296	82	27.7%

※福祉事務所資料に基づき作成

2022年度は統計なし

2023年度の統計は4月～8月末現在

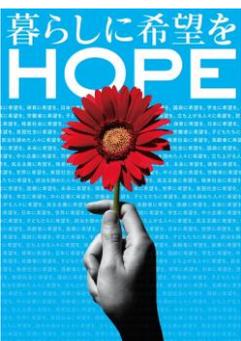
生活保護の申請の際に行われる「扶養照会」。前区政時代、申請者が拒否しても扶養照会を強行していたことが問題になりました。**今年度から照会率が引き下がったことが明らかに！**

扶養照会は、福祉事務所が申請者の親族に連絡をして支援を依頼するもので、当事者の多くが「親族に知られたくない」など照会を拒み、生活保護の申請をためらう理由になっていました。党区議団は無理な扶養照会を止めるよう、これまでも議会ですべて質してきました。また、国や都では、本人の同意が得られない場合は、無理な照会を行わないとしています。

しかし、杉並区は他区と比べ照会率が異常に高いことが昨年の東京新聞で報道されており、区は、無理な扶養照会はおこなわれないと答弁。2023年度の照会率は2020年度の三分の一まで引き下がったことが明らかになりました。岸本区政になり、対応が改善されたことは重要です。

映画

「百年と希望」自主上映会



暮らしに希望を
HOPE
10月14日(土)
13時15分～

西荻地域区民センター

荻窪駅北口から関東バス
「桃井4丁目」下車すぐ
参加費 500円

保険証廃止・マイナンバーの強制はやめて署名にご協力を！



ご自宅に署名用紙をお届けしますので、ご連絡ください。回収にも伺います。

あきりの部屋

年齢者や障害者、ケガや病気をしている人にも温かい社会に変えなければ！と痛感しています。

10月から始まるインボイス制度に反対する署名が52万筆集まったそうです。フリーランスなど当事者でなくても心を寄せ、この制度が始まればどんなことが起きるのか？想像してみてください。身近な人間関係を構築する上でも、持続可能で平和な社会を作るためにも、もっと視野を広げることが大切です。

子宮筋腫の手術が終わり、予定より一日早く退院することができました。ただ、歩くのもゆっくりで腹筋を使うことはあまりできないので、完全復帰にはまだまだ時間がかかりそうです。

これまで元気な時にはあまり分からなかったのですが、今は周りの人からの気遣いが本当にありがたく感じます。些細なことにも声をかけ、手を貸してくれることに感謝しています。

また、弱者の立場を理解し、高